

「堤防は建設しない」

舞根
2区

菅原市長が意向

気仙沼市唐桑町舞根2区の住民が7日、菅原茂市長に対し、同地区沿岸への堤防建設をしないよう署名簿を添えて要望した。菅原市長は地元の主張に理解を示し、堤防は建設しない意向を伝えた。

同地区沿岸を含む宿舞根漁港は市管理分。県は海岸堤防として標

高9・9呎の基本計画高を示している。市によると、この計画高は管理する市が整備する場合の基準となるもので、決定しているものではない。

今回要望があった場所はもとも堤防がなく、新たに整備する場

合は、住民の意向をもとに、市が建設の有無を判断する。

この日は行政委員の畠山環さん(73)ら4人が市役所を訪れ、「海と陸を分断する堤防は必要ない」などと要望した。

菅原市長は「今後は

住宅が高台に移転し、守らなければならない施設の予定もない」と堤防建設を行わない理由を説明。一方、他の漁港についても、県などと調整しながら早急に住民に見通しを示していく必要性を強調した。